

チリの対中国経済関係（中国海運会社によるアリカ港の港湾事業拡大：報道）

2月25日付当地主要紙「エル・メルクリオ」は、中国国営海運会社 Cosco Shipping Lines 社によるアリカ港の港湾事業の拡大について報じているところ、右概要以下のとおり。

1 チリ北部（第15州）のアリカ港の港湾オペレーションが拡張される。同港には、チリ、ペルー及びボリビア向けに船舶が寄港する。2016年には、250万トンの入港があり、これには、タンカー、バラ積み船（鉱物、木材）、コンテナ船（食糧・工業品）、自動車船が含まれる。

2 中国国営海運会社 Cosco Shipping Lines 社の Jeff Huang 社長は、昨日、アリカにおいて、チリは非常に重要な国であり、チリ・中国の貿易・外交関係は良好である。同社は、港湾オペレーションのために、当地アリカに既に5～6年駐在している。アリカ港はチリ一国だけではなく、非常にポテンシャルのあるペルー及びボリビアの市場港でもある、と述べた。

3 「C」社の港湾オペレーション参画により、アリカ港の船舶ラインは7、8本増加した。本年1月だけでも、入港船は約29万トンとなり対前年同期比では22%増加した。うちボリビア向けの船舶は22万トンを占め、対前年同期比では16.5%の増加である。

4 アリカ港には、過去12年間、新規クレーンや耐震設備の設置などのインフラ整備のために120百万米ドルの投資が行われている。

（了）